



【2024年度・夏期開園期間】 4/27(土)～11/3(日) 【開園時間】 午前9:30～午後5:15(最終入園は午後4:00まで)、  
 10/16(水)～11/3(日)は午前9:30～午後4:30(最終入園は午後4:00まで)  
 ※夜の動物園は8/10(土)～16(金) 午前9:30～午後9:00(最終入園は午後8:00まで)

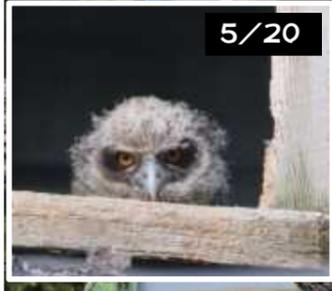
# 旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園  
 動物図書館  
 ☎0166-36-1104



4/10



5/20



6/3

ヒナ

モコ

**4/8、シマフクロウがふ化。5/28、巣立ちしました！**  
 閉園期間中の4/8にシマフクロウのヒナがふ化しました。旭山動物園では初めての人工ふ化（産んだ卵を孵卵器で温め人工的にふ化させること。このあいだ、メスのモコは擬卵を温めています）での繁殖となりました。ヒナはまっ白な綿羽に覆われ、目もあいていません。ふ化後5日目にはヒナを親の巣箱に戻し、そこからは親が世話をしていました。5/28には無事、巣立ちをむかえ、今では母鳥の「モコ」・父鳥の「ロロ」と一緒に過ごしています。

**エゾタヌキの子どもやシマフクロウのヒナ  
 マガモ・カルガモのヒナも生まれました！**  
 生きものたちが過ごしやすい初夏は繁殖期でもあり、出産&子育ての季節でもあります。今年の園内も、いろいろと賑やかです！



うみ

真っ黒な毛で生まれてきた子たちも、だいぶタヌキらしい顔つきになってきました ↓



6/15



6/6のSNSより

2024-08-06 14:05:29

**5/11、エゾタヌキの「うみ」が出産しました！**  
 北海道小動物コーナー（東門と「くもざる・かぴばら館」の間）で飼育しているエゾタヌキの「うみ」が5/11に出産しました。飼育スタッフが巣箱に設置したカメラで様子を確認すると、子どもは8頭確認できました。外の世界に興味津々の子ダヌキたちが放飼場を駆け回る姿を静かに観察してくださいね。SNSも要チェック！



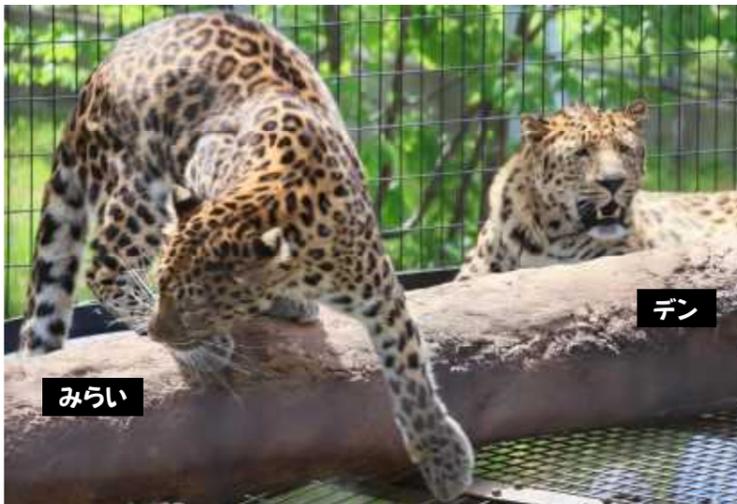
マガモの親子(6/10)



カルガモの親子(6/18)

**今年も「とりの村」はにぎやかです！**  
 6/4からカルガモ、6/7からはマガモのヒナが続々と誕生。小さな体で好奇心旺盛に活動しています。親ガモがヒナを守っている様子、親子で水面を泳ぐ様子など、カモの親子の行動をぜひ観察しにきてくださいね。6/15にはオシドリのヒナも生まれています。この後はキンクロハジロのヒナが生まれてくるかもしれません。

**アムールヒョウの「デン」と「みらい」の同居が始まっています。**  
 4/24から、昨年10月にデンマークのコペンハーゲン動物園から来園したオスの「デン」（2歳）と、旭山動物園生まれのメスの「みらい」（6歳）の同居がスタートしています。同居初日も特に争いはなく、現在も2頭がいい感じに過ごしています。オスの大きさ、メスのしなやかさを観察してみてください。



みらい

デン

**2024年の「夜の動物園」は  
 8/10(土)～16(金)の7日間です。**

園内の緑が増えてきました。いよいよ夏がスタートです。寒暖差や急な雨風といった気象変化が激しいと実感しているここ数か月。生きものたちは、ちゃんと過ごせているのでしょうか。今年の園内は、どの木の葉を見てもマイマイガの幼虫（幼虫の毛に触れるとかぶれる場合があるので要注意）がついています。毎年ヒメリンゴやズミといったバラ科の葉を食べて育ち羽化するエゾシロチョウは、昨年より極端に数が少ないようです。こういった種の増減の差は何が原因なのでしょう。産卵数や成長率？食草となる枝葉の状態？種にもよりますが、昨年と出現時期が変わらないものもあります。先日、園内でミヤマクワガタを見つけました。本格的な夏が始まりますね。

**第56回旭川市旭山動物園  
 児童動物画コンクールの作品募集中！**  
 今年で56回目を迎える「旭川市旭山動物園児童動物画コンクール」の作品募集が6/20(木)からスタート。毎年、旭川市内を中心に、道内外からも思い思いに動物を描いた作品が集まります。絵のテーマは「旭山動物園内の動物および風景」となっており、「幼児の部」「小学校低学年の部」「小学校高学年の部」の3部門で作品を募集中です。詳細は公式ホームページに掲載されている応募要領をご確認ください。

**募集期間は8/20(火)まで**

